

# 日本赤十字社和歌山医療センター 感染症内科

## スタッフおよび後期研修医 募集要項（2013年版）



2013年8月

[nisseki-w@kankyo.ne.jp](mailto:nisseki-w@kankyo.ne.jp)（代表）

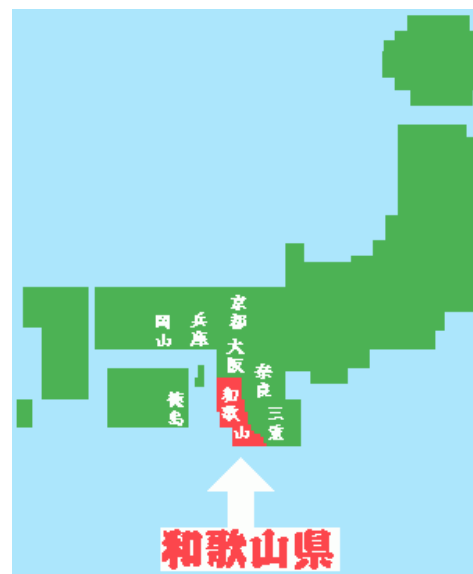
073-422-4171（代表）

2013年8月20日

# 募集には2種類あります

①「地方と世界をつなぐ感染症研修コース」の後期研修医  
若干名募集

② 感染症専門医（または相当）のスタッフ  
若干名募集



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

和歌山医療センター

# 当感染症内科のVision

- “感染症内科部は、感染症から人々を救うため、黒子となって働きます。”
- We are committed to ID stewardship in managing and preventing infectious diseases, through clinical consultation, multidisciplinary approach, and inspiring education.

# 当科の生涯教育コンセプト

## Lifelong learning: Our concepts



"Impartiality"

&

"Universality"



# ” Impartiality ”

<Majorでもない、Minorでもない、

第3世界で頑張ろう！>

- 私たちは、地方ならではの強み「和歌山identity」をもって、**日本の様々な感染症関係の病院等と協調・協力**させていただきながら、よりよい感染症診療を求めて活動しています。
- 日本感染症学会の専門医養成のために連携している施設は京都大学です。
- 見学・研修先として、国立国際医療研究センター、静岡県立静岡がんセンター、神戸大学、大阪医療センター、結核研究所などとの交流があります。
- 2012年にIDATENサマーセミナー@和歌山を開催させていただきました。
- 2013年6月に第1回fleekic (Fellow Level Entertaining & Educational Kansai Infection Conference) で発表させていただきました。

# ” Universality”

## <地方から国際社会へつながろう！>

- 和歌山市は、大阪府のすぐ南に位置し、最短30分強の距離に関西空港があるため国際的な活動にとって便利です。
- 大津聡子部長を中心に、WHO (World Health Organization) の西太平洋事務局（マニラ）へ短期派遣をしています。
- 2013年度からシンガポールの病院（TTSH；米国のJohns Hopkinsの分院も併設するほど国際色豊かな病院です）への短期派遣も実施検討中です。

# 募集①



「地方と世界をつなぐ  
感染症研修コース」

後期研修医若干名募集

# 対象

- 初期研修（Super Rotation）を終了し、〇〇科または救急科・集中治療部など何らかの科になりたいと考えているが、同時に、感染症にも興味があり研修をしてみたい方
- 国際的な医療活動、渡航医学（Travel medicine）・熱帯医学、あるいは公衆衛生などにも興味があるが、どこで研修すべきか迷っている方

# 研修期間

- 内科・救急の研修期間によって変わります。
- 研修期間はこれまでの経歴に応じて柔軟に対応します。
- とくに、感染症科医を目指す場合は、基本的な内科もしくは救急の研修を終える必要がありますので、個別にご相談しましょう。感染症専門医取得のためとしては、3年必要です。終了すると日本感染症学会専門医受験資格を得られます。

# 研修分野

- ① 臨床感染症コンサルテーション
- ② 抗菌薬スチュワードシップ
- ③ 研修医教育
- ④ トラベルクリニック（渡航・熱帯医学）
- ⑤ 臨床研究
- ⑥ 感染予防管理

# 地方と世界をつなぐ オプション①

## 【京都大学での研修】

- 日本感染症学会の指導施設の認定を受けるにあたって、京都大学と連携しています。アカデミアの連携施設として、**移植・膠原病**等の免疫不全患者の感染症、**真菌症**、臨床微生物学の視点を中心に学べます。



# 地方と世界をつなぐ オプショナル②

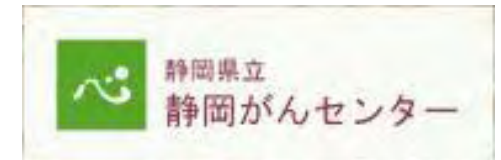
## 【HIVや結核など特殊領域の研修】

- 一般の市中病院ではまとまって見ることのできない分野について、集中的に経験する機会を作っています。
- 過去には、**大阪医療センター**の1か月コース、**結核研究所**の1週間コース、**静岡がんセンター**の3か月研修などの実績があります。



 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター  
HIV/AIDS 先端医療開発センター

公益財団法人 結核予防会  
**結核研究所**  
The Research Institute of Tuberculosis



# 地方と世界をつなぐ オプショナル③

## 【海外の感染症内科の研修（案）】

- 英語が一定レベル以上の方を対象に、海外の臨床留学の相談に応じます。2013年度は、シンガポールのTTSHの感染症内科での研修を実施予定です。



# 地方と世界をつなぐ オプション④

## 【国際保健・公衆衛生】

- 国際的な仕事に興味のある方は、**日本赤十字社**および**WHO**（World Health Organization）などの仕事ができます。





## 募集②

感染症専門医  
(またはそれに相当する方)  
**スタッフ** 若干名募集

# 対象

## ●主な募集対象

- 感染症科あるいは感染制御部、総合診療科等で感染症に関する一定の経験を有し、
- 感染症専門医の資格を有するかそれに相当する方

## ●加えて、下記の方は優先的に募集しています

- 国際的な活動にも興味がある方
- 腎臓内科も好きな感染症科医
- 整形外科も好きな感染症科医
- 救急・外傷・集中治療も好きな感染症科医
- 小児科医かつ感染症科医



# 業務1（入院）

## ● 当科のメイン業務は、院内コンサルテーション

- 当科の一番の診療対象は、当院の入院患者です。
- 各科主治医からコンサルテーション（他科受診）された症例に対して、主治医をサポートする（併診する）という形態で診察します。
- 臓器別・専門分野別の科とは違った視点を持って、横断的な立場で、一例ずつきめ細かく相談に応じます。
- 対象が全科にわたるため、入院ベッドは持っていません。

# 院内コンサルテーション

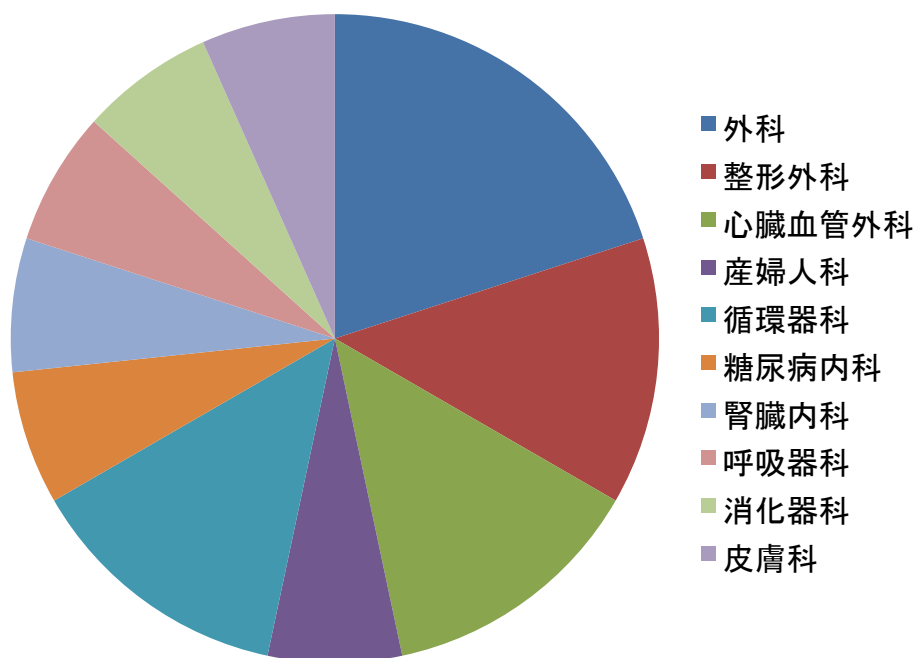


★感染症のことで困ったら、  
ご相談をください★

|       |       |           |      |    |      |      |    |       |      |     |          |      |     |      |        |      |       |     |       |        |            |      |     |      |       |      |            |     |             |       |
|-------|-------|-----------|------|----|------|------|----|-------|------|-----|----------|------|-----|------|--------|------|-------|-----|-------|--------|------------|------|-----|------|-------|------|------------|-----|-------------|-------|
| 循環器内科 | 消化器内科 | 糖尿病・内分泌内科 | 血液内科 | 外科 | 乳腺外科 | 小児外科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 産婦人科 | 小児科 | 第一・二泌尿器科 | 腎臓内科 | 皮膚科 | 整形外科 | 歯科口腔外科 | 放射線科 | 脳神経外科 | 麻酔科 | 呼吸器内科 | 心臓血管外科 | リハビリテーション科 | 神経内科 | 精神科 | 形成外科 | 呼吸器外科 | 心療内科 | リウマチ科(膠原病) | 漢方科 | <b>感染症科</b> | 神経救急部 |
|-------|-------|-----------|------|----|------|------|----|-------|------|-----|----------|------|-----|------|--------|------|-------|-----|-------|--------|------------|------|-----|------|-------|------|------------|-----|-------------|-------|

# 院内コンサルテーション

＜ある日のフォロー科＞



＜ある日のフォロー例＞

リステリア菌血症  
結核性脊椎炎  
慢性胆嚢炎  
急性膵炎後腹腔内膿瘍  
破傷風  
ペースメーカー感染症  
前立腺膿瘍  
脳室ドレーン感染症  
輸血後遅延型溶血反応  
開放骨折術後MRSA感染  
TKA術後感染  
人工呼吸関連感染症  
陰茎癌術後感染

# 業務 2 （外来）

## ● 外来コンサルテーション

- 各科外来からのコンサルテーションを受けます。
- 多いのは**不明熱・熱源不明例**です。
- 海外渡航歴後の発熱、HIV抗体陽性時の対応なども含まれます。

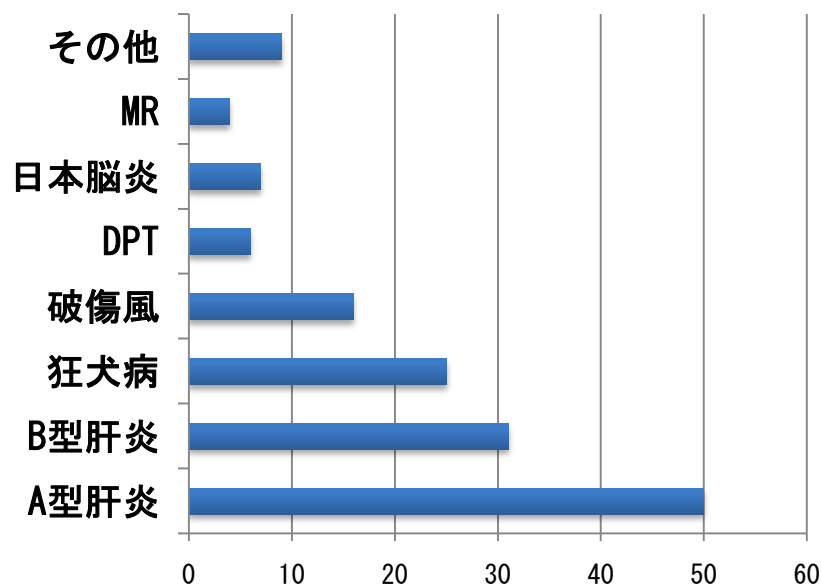
## ● トラベルクリニック（渡航外来）

- 2012年8月、**トラベルクリニック**を開設しました。
- 2013年7月、受診状況について集計し日本渡航医学会で発表しました。（次ページ）



# トラベルクリニック（月・木）

| 診療内容      | ワクチン接種 | 高山病予防薬処方 | 診断書作成 | マラリア予防 | 渡航相談のみ |
|-----------|--------|----------|-------|--------|--------|
| 73名中、重複あり | 61     | 5        | 5     | 5      | 12     |



| 既往歴  | あり | なし |
|------|----|----|
| 73名中 | 26 | 47 |

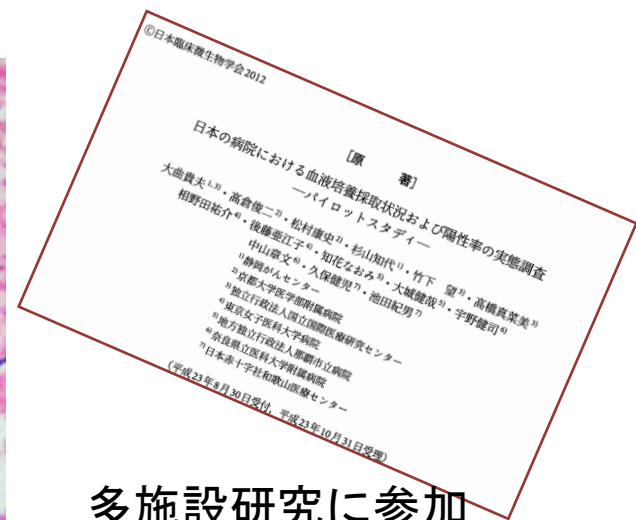
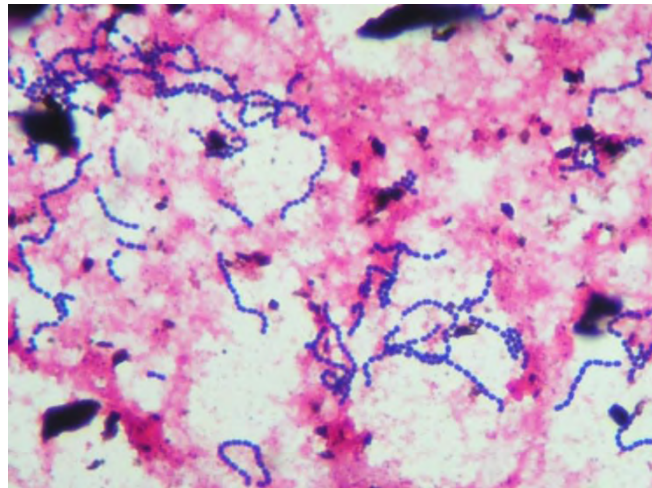
| マラリア予防薬処方 | 9名 |
|-----------|----|
| メフロキン     | 6  |
| ドキシサイクリン  | 2  |
| マラロン      | 1  |

## 接種ワクチン（73名中、重複あり）

# 業務 3 (細菌検査)

## ● 血液培養カンファレンス

- 細菌検査室と毎日情報を共有し、血液培養陽性例を全例検討し、**主治医の先生に情報提供**をしています。
- 研修の**ステップアップの入口**として、全科にわたる感染症の確定診断例と最適治療の選択のロジックを経験できます。



多施設研究に参加

# 業務 4（カンファ）

## ■ 定期

- 毎日9時～            コンサルトカンファ（申し送り含む）
- 毎日13時半～    血液培養カンファ
- 毎週木16時～    抗菌薬評価チーム（KUMAGUS）

## ■ 随時

- 火曜日8時～      英語カンファ
- 金曜日8時～      精緻に読むジャーナルクラブ

## ■ 院内研修会    年間プログラム

- 重点研修（対象：おもに研修医）
- 日赤和歌山感染症セミナー（対象：職員、一部公開）

# 重点研修

|    |        |   |                           |
|----|--------|---|---------------------------|
| 1  | 4月12日  | 金 | 抗菌薬 はじめの一步(仮)(研修課主催)      |
| 2  | 4月25日  | 木 | 臨床感染症の考え方                 |
| 3  | 5月16日  | 木 | グラム染色の診かた(30分)            |
|    |        |   | ICTの紹介(10分)               |
| 4  | 6月X日   |   | 結核について(仮)(※)              |
| 5  | 6月20日  | 木 | $\beta$ ラクタムの使い方          |
| 6  | 7月16日  | 火 | 手指衛生1(手の培養)(20分)          |
|    | 7月18日  | 木 | 検体のとり方(30分)               |
|    |        |   | 手指衛生2(培養結果の説明)(10分)       |
| 7  | 8月15日  | 木 | 非 $\beta$ ラクタムの使い方        |
| 8  | 8月X日   |   | ワクチン 世界と日本の比較(仮)(#)       |
| 9  | 9月19日  | 木 | 医療関連感染症                   |
| 10 | 10月17日 | 木 | “かぜ”と“かぜ”のように見える重症疾患 2013 |
| 11 | 11月X日  |   | 多剤耐性菌について(※)              |
| 12 | 11月21日 | 木 | 抗MRSA薬の使い方                |
| 13 | 12月19日 | 木 | 尿路感染症の診かた                 |
| 14 | 1月16日  | 木 | 感染症ガイドラインupdate 2013      |
| 15 | 2月X日   |   | 重症感染症の治療(仮)(#)            |



2013年度の予定より（院外講師を含む）

# 日赤和歌山感染症セミナー(2012)

## 第2回 「一類感染症への備え」

古宮伸洋先生（当院）

「血液培養と感染症科と感染性心内膜炎の奇妙な関係」

山本舜悟先生（京都市立病院感染症内科）

## 第3回 「感染対策の重要ポイント」（院内感染対策研修会）

矢野邦夫先生（浜松医療センター）

## 第4回 「鳥の目と虫の目で考える抗菌薬適正使用」

具芳明先生（東北大学）

## 第5回 「耐性菌の現状とその対策 ～事態は深刻です～」

笠原 敬先生（奈良県立医科大学）（院内感染対策研修会）

## 第6回 「がん患者の感染症診療 ー広域抗菌薬さえ使っていれば安全か?ー」

大曲貴夫先生（国際国立医療センター）（和歌山耐性菌研究会）

# 業務 5（マネジメント）

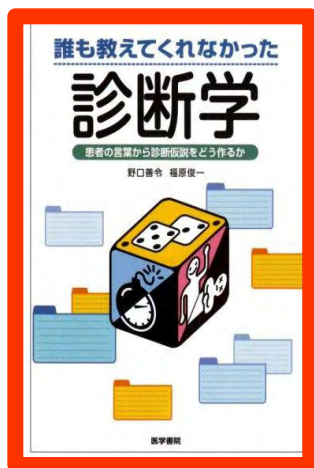
## ● 一類・二類感染症病床の運営

- 2011年から当院は厚労省指定を受け、**一類・二類感染症病床**を合計8床有しています。稀ではあっても遭遇しうる疾患への対応の準備を日頃から行っています。

## ● 感染予防・制御の専門は「ICT」

- 感染予防・制御については、院長のもとに開かれる院内感染対策委員会と、その実動部隊としての「ICT（Infection Control Team）」があり、こちらは管理部門（中央部門）の一つです。
- 感染症内科部はICTではありませんが、ICTの活動にも密接に協力しています。

# 付. 初期研修医の当科ローテーターへの推薦図書





# 当科の売り10

- 北米式＝コンサルテーション型
- ベッドを持たず、病棟医の仕事に追われない
- 産休・育児休暇を強力にサポート
- 院外研修を奨励、費用面でも強力にサポート
- 学会発表も、国内・海外を問わず費用面でも強力にサポート
- 英語の練習、国際関係の仕事への足がかりとしてもサポート
- スタッフは、感染症に限らず多様なバックグラウンドがある
- トラベルクリニックの専門家の存在
- 疫学や国際関係での経験が豊かなスタッフ
- 当科はしがらみなし。ただし当科は京大とは連携していて専門医取得ができる

# 当院の特徴

## ■救急が盛んな地域の中核病院

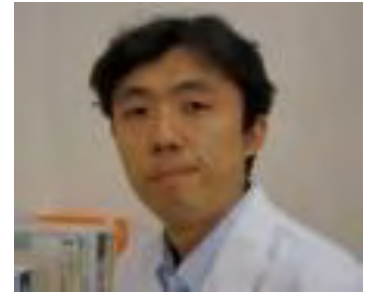
- 当院は、873床で、33科の専門科を有し、全科がそろっている  
のでほとんどのことが当院で完結します。
- 1次～3次救急症例に対し24時間**全例応需（断らない救急）**を  
実践してきた高度救命センターを備えた総合病院です。年間  
救急受診者数は約3万3千人、うち救急車は約9000台です。
- 地域の基幹病院なのでCommonな市中感染症からまれな劇症型  
感染症まで幅広く経験できます。

## ■他科のローテーションも可能

- 市中病院ならではの特性で、科同士の垣根はないに等しく、  
当科研修の間の**各科ローテーション**が随時可能です。

# 当院の自慢

## ■ 山本 舜悟 先生（非常勤）による教育・指導



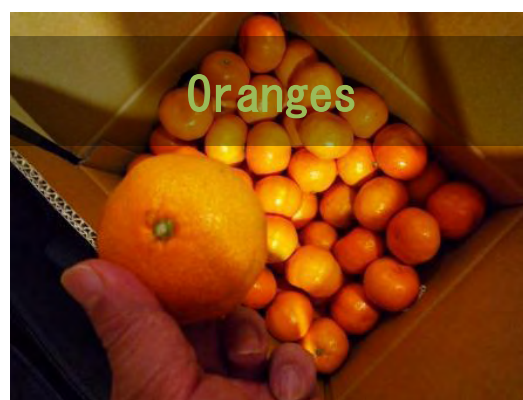
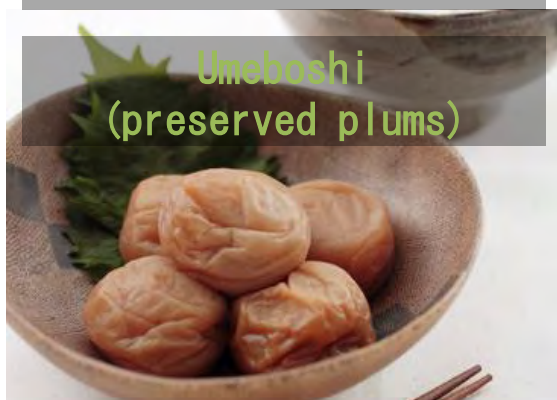
- 2002年 京都大学医学部卒業、麻生飯塚病院初期研修
- 2004年 洛和会音羽病院総合診療科後期研修
- 2007年 亀田総合病院感染症フェロー
- 2009年 同院総合診療・感染症科医長
- 2011年 リヴァプール熱帯医学校でDTM&H取得  
総合内科専門医、国際旅行医学会旅行医学認定TM
- 2011年 京都市立病院 感染症内科 医長
- 2013年 京都大学大学院 社会健康医学専攻.



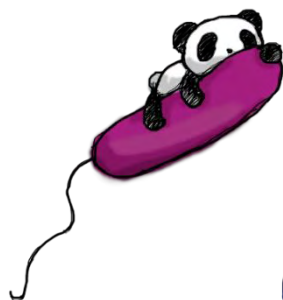


Wakayama Prefecture  
1 million people/  
4726 km<sup>2</sup>

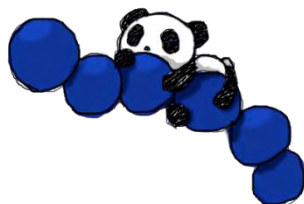
Wakayama City  
370 thousand/210 km<sup>2</sup>



# 日本で最もパンダが繁殖している県？



大腸菌に乗って  
空飛ぶパンダ



連鎖球菌に乗って  
空飛ぶパンダ



アスペルギルスを  
食べるパンダ

日赤和歌山医療センター感染症内科  
イメージキャラクター

本物のパンダの赤ちゃん



# 和歌山での暮らし方～入門

- 何らかの交通手段はないと不便です。自転車が好きな方は渋滞のない道路をサイクリングできます。車さえあればどこでも気軽に行けて、「郊外の暮らし」を堪能できます。
- 北に1時間ちょっとで、大阪や神戸です。関西空港は和歌山市内からリムジンバスで40分程度です。（[http://www.kate.co.jp/pc/time\\_table/time.html](http://www.kate.co.jp/pc/time_table/time.html)）
- 和歌山は豊かな自然と梅干し、ミカン、桃をはじめおいしい食べ物が豊富です。とくに、魚がおいしい！
- 南へ1時間ちょっとで白浜ビーチ（<http://www.nanki-shirahama.com/>）、さらにいけば串本のダイビングスポット（<http://www.aikis.or.jp/~susami-k/marine/diving/index.html>）、そして熊野古道（<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/photomuseum/082.html#title>）と、日本屈指の観光スポットがいっぱいです。
- 2012年には世界遺産の高野山を利用してIDATENサマーセミナーを開催しました。（[http://theidaten.jp/data/rep\\_SSeminar2012.pdf](http://theidaten.jp/data/rep_SSeminar2012.pdf)）
- 和歌山は華岡青洲、南方熊楠、松下幸之助ら偉人を輩出しています。L'Arc〜en〜Cielのhydeの出身県でもあり、コブクロの事務所は和歌山市内にあります。

# CNNにも特集された観光立国

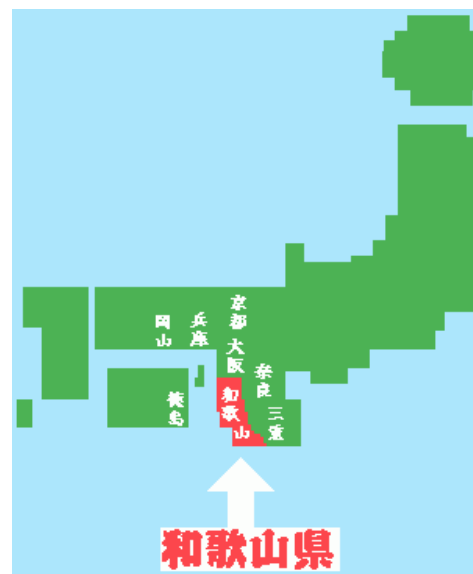


<http://travel.cnn.com/wakayama>

# 募集には2種類あります

① 「地方と世界をつなぐ感染症研修コース」の**後期研修医**  
若干名 募集

② 感染症専門医（または相当）の**スタッフ**  
若干名 募集



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

和歌山医療センター

# 当院へのアクセス

- 当センター

<http://www2.kankyo.ne.jp/nisseki-w/>

- アクセス

[http://www2.kankyo.ne.jp/nisseki-w/web-content/byoin/access\\_map.html](http://www2.kankyo.ne.jp/nisseki-w/web-content/byoin/access_map.html)

- ただし、状況・時期によっては募集が終了になることもありますので、あらかじめご了承ください。

# 応募者へ

- 募集対象は上述のとおりですが、ぜひ、和歌山という地方都市で、関西近郊の感染症診療のレベルを牽引していく活動をしませんか？
- 一緒に楽しく働いていただける方を募集しています。
- 詳細は、直接ご相談させていただきたいと思いますので、まずはご一報いただければと思います。

# 連絡先

日本赤十字社和歌山医療センター感染症内科部  
073-422-4171（代表）

[nisseki-w@kankyo.ne.jp](mailto:nisseki-w@kankyo.ne.jp)（代表）

- 大津聡子（感染症科部部長・国際医療救援部副部長）
- 古宮伸洋（感染症内科部副部長・国際医療救援部）
- 久保健児（感染症内科部・救急科部）

どなたでも大丈夫です！！

和歌山で  
お待ち  
しています。

